

令和3年度 第1回飯山市美術館運営協議会 会議録

- 開催日 令和3年5月27日(木) 午後3時30分～4時50分  
○開催場所 飯山市公民館 201 会議室  
○参集者 委員(敬称略): 廣靖彦 丸山公人 吉越隆師 西澤直樹 伊達信寿  
小林豊彦 ※3名欠席

市側: 松木英文(教育長) 桑原雅幸(文化振興部長兼文化交流課長)  
井端伸介(美術館長) 小林隆子(美術館職員)

1 開 会

2 辞令交付 委員6名に机上配布による辞令交付

3 あいさつ

教育長: この4月から飯山市教育長を仰せつかりました松木英文と申します。よろしくお願いたします。お忙しい中、本会議にお集まりいただきありがとうございます。委員の皆様には2年間という任期の中、飯山市美術館の事業に関わり前向きなご意見をお寄せいただき、より有意義な美術館運営ができるようお力添えいただきたいと思っております。

4月に行われた市民芸術祭を鑑賞しました。コロナ禍でストレスの溜まる日々の中、作品を見てゆったりとした気分になり、出品した方々に有難く感謝の気持ちです。また寄贈された2体の仏像の展示を見て心が開かれた気分を味わいました。

今日は事業報告をしてご意見をいただきますが、これからの美術館が地域にとって心の憩いの場になるよう皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

4 自己紹介 出席委員6名、市側4名それぞれから自己紹介

5 会長選出 会長として廣靖彦委員、会長職務代理として丸山公人委員に全会員一致で決定

6 会長、会長職務代理あいさつ

会 長: 16、7年ほど前に飯山に移住してきて、まだわからないことが大変多くあります。

先日、テレビを見ていたら新しくなった長野県立美術館の紹介をしていて、もちろん財政も規模も違うのですが、県民や見る人の立場に立って色々な工夫をしていると思いました。県立美術館だけではないと思うが、最近の美術館は無料スペースが設けてあり開放している。場所もすごく良いところにあって私も近々行きたいと思っています。

美術、芸術に想いを寄せる方はそんなことはないが、一般的に美術館は敷居が高いというか、近づきにくいところがあると思う。お茶でも軽く飲める、外を眺めるスペースがあることで、皆さんに近くに来てもらおうという思いが必要。芸術は難しいとかではなく、皆さんに馴染みやすいことが大事だと思った。

県立美術館長さんが、一番協調されていたのは『好奇心を持ってもらいたい。作家にとっても、一般の方にとっても、みんなにとって大変大事なこと。』と言っていた。飯山市美術館でも、機会があれば気軽に来てもらえる企画、行きやすい・入りやすい・行って面

白かったというような企画、より市民の方や近くの方に来て楽しんでもらえる企画などのアイデアがあると良いなと思っています。

会長職務代理： 職務代理を仰せつかりました。市民芸術祭が無事に終わり、コロナ陽性者もなく、ホッとしています。ご協力ありがとうございました。

## 7 協議事項 ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

### (1) 令和2年度事業について（報告）

事務局：（次第と資料のとおり説明）

委員： 以前から提案していますが、小中学校の生徒の作品を飾る方法はないでしょうか。高校までの生徒を含めても良いと思うが、ギャラリー展でも良いのですが、できるだけ皆で研究してみて、全館使わなくてもギャラリーで。小中学生は無料で、高校生は？

事務局： 高校生は学校の授業の一環として申請をしていただければ無料です。

委員： 小さい学校は別な学校と組んで、先生が審査は大変だろうから、〇〇学校全員を何日から何日までやるよ、とできないものか。

事務局： 児童の作品については、公民館で青少年芸術祭があって、絵画だけでなく書道など、全学校の全児童の展示が行なわれていて、差別化をどうするかがあると思います。

委員： 小中学生の年間入館者数を見ると351名で、これを如何に増やすかが必要で、例えば小中学生の作品をきっかけにして保護者の方にも来てもらう。小中学生が美術館に来るということを、何とか工夫して全体で考えていって欲しいと考えます。

会長： 大変賛成です。私は大阪で高校の美術講師をしていた時に、1週間の間に美術館に行きレポートを提出する課題を出すとその間は美術館がいっぱいになることもありました。規模も違いますが、今は栄村の学校に週一回教えていて生徒の作品を場所を借りて展示する企画があり、大変良いことだと思っています。できる限り年に一回、美術館や音楽施設に足を踏み入れるのと入れないのでは、その後が違ってくるので、学校関係や準備の関係で大変な面もあるとは思いますが、(市の)バス1台で半日のスケジュールで何とかならないか。ぜひ実現するように希望します。

教育長： この点、いかがでしょうか。

委員： 良いと思います。ぜひ実現出来ればと思いますが、(中心地以外の)小学校がここまでなかなか来れないんです。

教育長： 児童の作品があれば保護者と一緒に見に来ると思う。

委員： 学校としてではなく、保護者と一緒なら可能ですね。

委員： 全学校、全生徒の作品、選ぶのは大変なので、みんな展示すれば来館してもらえるのではないか。

会長： 今すぐは無理でも、交通手段の問題もありますし、期間も短くて良いと思うので、何とか数年内に実現して、家族と来ていただくような企画を一考して欲しいと思います。

事務局： はい。今後、前向きに検討します。

### (2) 令和3年度事業計画（案）について ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

事務局：（次第と資料のとおり説明）

会長： コロナはもちろん、色々な準備が大変な中で、頑張って企画運営していると思います。

(3) 令和4年度以降の企画展等について ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

事務局：（次第と資料のとおり説明）

会 長： 色々なことに意欲的に取り組んでいただいている。沢山の準備活動、企画をし、これからまだまだ決めて行くことも多いと思います。

星野さん（令和5年度企画候補に上がっている写真家）は、羽広山に移住してきた方で親交があります。

制約もある中、コロナもありますが皆さんご協力をお願いいたします。

事務局： 今年度の企画は決定し準備に入っていますが、来年度以降は流動的に対応することも可能です。何かご意見ご質問等あれば、いつでもお寄せいただければ有難いことです。

会 長： では、今日の会としては、報告のあった通り進めて行くということで、我々にも協力できる応援できることがあれば、何でも言ってください。

事務局： 今年度の企画「正受老人三百年遠諱」の開会式のご案内をお送りいたしますので、ご都合つけばご臨席いただきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

(4) その他 ※特になし

## 8 その他

(1) 次回運営協議会開催について

事務局：（次回の協議会は令和4年2月下旬を予定していることを告知）

## 9 閉 会